



県本部 第2回 理事会を開催 総会議案を討議、会員拡大と支部作りが活発に論議される

7月20日、県本部第2回理事会がさいたま共済会館504号室で開催されました。

開会にあたって、矢島会長は、コロナ感染拡大の中での参加に謝意を述べたあと、「無為無策への国民の怒りで、自公政権への支持の下落により三つの国政選挙での野党の勝利と都議選での自公が過半数の議席を取れない...この秋はいよいよ政権交代の選挙になる。国民の中に核廃絶の動きの高まる中、今こそ、『再び戦争と暗黒政治を許さない』ことに国民の関心と世論を高めなければならない。国会請願しても自公政権は取り上げないが、市民と野党の共闘による政権の実現により国会請願を実現させ

ることになる」と参加者に向けて力強く訴えました。

続いて、岩田事務局長からは、総会議案書の活動報告と方針の提案があり、これを受けて討議が行われ、十人から発言がありました。

最初に、東松山市の篠田理事が「三人居れば支部が出来るという。東松山市内には会員が三人いる。連絡を取り、ぜひ支部を作りたい」と発言し、越谷市の望月理事は、「越谷市には会員が十三人いる。支部を作り、私が支部長をやります」と決意表明しました。

小室理事は、「野党共闘において国賠署名への賛同の是非が野党共闘に向けての国会議員のリトマスになる。」と発言しました。

宮代町の加納理事は「若い人を増やさなければいけない。行動力のある人を拡大していく」と会員拡大に

ついて決意表明しました。

支部活動について、岩槻支部の渡辺常任理事は、支部会議と学習会の定例化の中で会員を増やしたことをなどを発言。行田・羽生支部の吉田常任理事からは、結成時は11名だった会員が今は20名にしたとの報告がありました。春日部支部の卯月理事は、「支部があつて一番良いことは行事を開けること」とDVDを観る企画などが紹介されました。

小池副会長は、「日本会議は埼玉に17の支部と女性部もあるが、同盟も敗ける訳にはいかない」と発言。住宅生協を創ってきた本山理事は「支部作りは大切だと思う。組織の存在感を世間に示す。組織を作るのが好き」と発言するなど、支部作りについて積極的な発言が相次ぎました。

大野副会長は閉会挨拶で、「千代子」の映画作りにも取組み、同盟要求実現のためにも国政を変え、三年後に迎える創立50周年に向けて、支部づくり、会員拡大に本格的に取組もうと呼びかけました。



「不屈」No566 付録
埼玉版 (No394)

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
埼玉県本部
〒330-0063
さいたま市浦和区高砂
2-3-10 黒澤ビル3F
電話:048-824-0094
振替 00110-7-83245

〈国会請願三項目〉

- ①国は、治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること
- ②国は、治安維持法犠牲者に謝罪し、賠償を行うこと
- ③国は、治安維持法による犠牲の実態を調査し、その内容を公表すること

平和のための埼玉の戦争展はオンラインで開催

7月31日から8月2日までの3日間、オンラインで「平和のための埼玉の戦争展」を開催し、大変好評でした。

実行委員会は、コロナ感染が収まらないなか、例年の浦和駅前のコロシアムでの開催を取りやめ、思い切つてオンライン開催を決断し、オンラインならではの企画づくりをすすめてきました。

魅力溢れるたくさんの方のオンラインプログラム、オンライン展示を準備しました。

此処に、10本のピーストークを紹介します。

「コロナ禍で考える平和と安全」 本田 宏

「ジェンダーの視点から平和を問う」 清末 愛砂

「いまの日韓関係から植民地主義を考える」 金 英丸

「米軍優位の日米地位協定の実態」 吉田 敏浩

「感染症と戦争・軍隊を考える」 雪田 慎二

「福島・原発事故がもたらしたものの…」 牧内 昇平

「福島・原発事故がもたらしたものの…」 牧内 昇平

「日本を見つめるアジアのまなざし」 符 祝慧

「オリンピック・スポーツと平和」 寺島 善一

「北東アジアの平和をめざして」 大西 広

「いまこそ憲法を生かすとき」 金子 勝



新加入同盟員紹介

佐藤 泉 さいたま市北区
柿沼 遥輝 北本市
小久保剛志 上尾市

国会請願署名推進コーナー

【個人署名】

新日本婦人の会埼玉県本部 165筆
岡田栄子 8筆

【団体署名】

新日本婦人の会深谷支部

署名合計

個人署名 449 筆
団体署名 1 団体

夏期募金ありがとうございます

行田・羽生支部、
田中昌子・敏雄、高野忠夫、鯨井洪、
加納幸子、金子敏江、鈴木千賀子、
秋山もえ、安保芙美子、加藤ユリ、
佐藤 修一、生澤壮介、寺島萬里子、
小室仁彌、
(敬称略、前号からの続きです)

読者からのQ&A

Q 「国賠同盟」の埼玉県本部は、全国で最も早く出来た地方組織と聞きました。が、当時のことを教えてください。

A 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟が2百名の犠牲者によつて結成されたのは、東京都に史上はじめての美濃部亮吉革新知事が誕生した翌年で、3・15大弾圧の40周年にあたる1968年3月15日でした。当時、革新運動の広がりに危機感を怯えた反動勢力は、「自由社会を守れ」と新たな「反共攻撃」を展開する中で、「同盟運動」も地域に根差した地方組織(支部)の必要性が語られ、東京や千葉などで準備会が発足していました。埼玉では、入会したばかりの須永甫さんが中心になって、1974年10月6日、行田市にある須永宅で、松尾洋、為成養之助、石黒周一、上野山博、市村光雄、岩見光枝、三沢丁三、須永甫の八人が集まり結成総会を開きました。当日は6名の支部役員を決め、翌年開かれた第2回支部総会で須永甫さんが初代支部長に選ばれました。次いで千葉県は同年12月14日に発足。東京が発足したのは、三年後の77年11月30日でした。埼玉県の「同盟」は全国に先駆けて2024年に50周年を迎えます。それまでには500名以上の会員を実現し、「50周年記念事業」も今から具体化して進めたいと計画しています。(池)



戦争は終わったけれど私は2学期も3学期も学校に行けなかった。身体も気持ちも弱っていた。戦地に行った父の生死も不明で母は何度も東京まで調べに行っていた。

蘇我は東京湾のあさりや海苔を採って暮らしている漁民のまちで、冬には海苔を干す台が畑に

読者のひろば

私の戦争体験
最終回 絵と文
長澤 志保子

⑪ 不発爆弾

立てられた。
近くの家に3月10日の東京大空襲を懸命に逃げ延びて来ていた親子がいた。私と同じ年だったし東京の学校にもいかなかったので時々遊んだ。

この家の前にも、海苔干し台が沢山あった。その台の後ろにアルミのように光った40cm位(？)の円筒形のものが置いてあった。海苔の網にかかったのか、海から拾ってきたものか珍しいものだった。

⑫ 戦争が終わっても

冬の日、その家の周りで3人で遊んでいた。お昼になり「さよなら」をして家に帰る途中、背後でドーンと大きな音、振り向くと砂塵が上がっている。母が飛び出してきた。「志保子はどこっ!」

海苔干し台の後ろにあった光ったものは不発弾でした。私が帰った後二人で遊んでそれに躓いたのか。東京から来た子が戸板に乗せられ私の家の前を、砂まみれになつて。

3月10日の大空襲をせっかく生き延びてきたのに…戦争が終わってから亡くなってしまうなんて。

— 感想文募集 —

長澤 志保子さんの戦争体験記
如何だったでしょうか…。八歳の少女が受けた「戦争体験」は胸を打ちます。読者のみなさんの感想文をお待ちしております。

(編集部)



今でも機銃掃射の夢を見る事があります。黒い雲は東京大空襲の空。「戦争をなくすためならどんなことでもしたい」そう思っつと生きてきたような気がします。

(完)

同盟文芸



短歌

感染者の広がるただ中オリ・パラの開催
強行愚かな政治よ

電話かけビラ配りなど都議選の勝利に
貢献応援かみしむ

川口市 宮地 さか枝

俳句

スガの横暴怒り心頭百雷落ちよ
泥田よりすがしく生れし蓮の花

春日部市 浅子 薫衣

虹の橋君までマスク半欠けに

行田市 大野 辰男

敗戦忌重なるオリ・パラ孫思う

盛り土に山猛りたり梅雨熱海

さいたま市 小池 莊市

川柳

演出ば五輪憲章違反人
悔恨の八月未だ省みず

春日部市 福家 駿吉

私も一言



オリンピックよりいのちが大切!

埼玉県高等学校教職員組合 小沢 道夫

「戦争させない!埼玉の会」でも、こんなのつくってみました。

(二橋元長さんのフェイスブックより転載させて頂きました)



戦争させない!埼玉の会

先人たちに「なぜ戦争したの?」「なぜ戦争に反対できなかったの?」と問いかけてきた世代が、後々「なぜ五輪開催したの?」「なぜ五輪止められなかったの?」と後世の人たちに問われかねない。いまを生きる世代の責任で、危険な五輪は中止に。

熱風

この間の悪法は、治安立法であることを本質的な特徴としていたとの指摘があるが、我が同盟としてしっかりと捉えておきたい

▼菅内閣に入つてデジタル法、改憲手続法改正、土地規制法、そして法は制定されていないが憲法の恣意的解釈で首相権限の拡張を事例化した学術会議会員任命拒否の措置などである。これらは、先の安倍内閣時の秘密保護法、共謀罪法、安保法制に連なっている▼これらは、「安全保障」の絶対視を前提に、反体制的と見なす市民運動をその思想において抑え込むことと、法の文言を不明確にしておくことで市民の活動を萎縮させること、そして、政府とくに首相への権利の集中である▼6月に成立した土地規制法は、こうした特徴を全て持つており、まさに本質はナチスの授權法と同根である。悪法には、時をおかずに対峙の声をあげなければ、また再びあつてはならない歴史を繰り返すことにつながる▼我が同盟の役割の大きさを「香港の動きを目の当たりにし、私たちの前途は、決して暗くない」との声に本当に応えたい夏を迎えている。(辰)